加古川市 誰もが豊かさを享受できる加古川スマートシティ推進事業(かこがわICTまちづくり協議会)

■都市課題

都市防犯力・防災力の向上 広域サービスの展開 加古川駅周辺の賑わい創出

■解決方策

- ①広域的なデータの一元集約・共同利用
- ②3D都市モデルを活用したVRモデル構築
- ③交差点の危険検知・注意喚起(Alカメラ)

■KPI

- ① 地域の防災体制への満足度 65% R8年度 加古川駅周辺の都心魅力の 60% R8年度 満足度
- ③ 地域の安全対策への満足度 65% R8年度

■実証実験の概要・目的

- 【①広域防災】広域防災データの一元集約化と利活用による広域防災力の向上
- 【②スマートプランニング】3D都市モデルを活用した加古川駅前再開発に向けたスマートプランニングへの展開
- 【③次世代見守り】AIカメラのセンシングデータ(危険運転車両検知)を活用した次世代見守りサービスの展開

■実証実験の内容

①広域防災

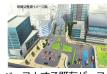
- ✓ 土砂災害関連データ等の一元集約・ ダッシュボードでの可視化、都市OS 等の共同利用調査・試行
- ✓ 市内に地盤傾斜計・土壌水分計を設置し、土砂災害データ集約



ダッシュボードイメージ

②スマートプランニング

- ✓ 現況モデル・将来モデル(素案)を整備 し、統合してVRモデルを構築
- ✓ 点群データ等によるモデルの詳細化



ベースとする既存パース

③次世代見守り

- ✓ 市内2交差点程度にて、Alカメラで事故り スクの高いスポットのデータ取得、都市 OSへのデータ格納、データ分析・検証
- ✓ 交通対策に向けた関係者協議への活用



■実証実験で得られた成果・知見

- ✓ 今回のVRモデルを活用した、「2040年の加古川 ② 駅周辺を考える若者ワークショップ」を開催し、意 見交換の活性化に寄与することを確認。
- ✓ 事故リスクの高い市内の3交差点にAIカメラを新規設置し、交差点での危険運転車両の検知・注意喚起など一定の効果が期待できることを確認。
 - ✔ 交通誘導員や庁内にヒアリングし期待感を確認。

■今後の予定

- ①:庁内/広域での運用フロー検討、広域ニーズ対応。
- ②: VRモデルを活用したWS開催や、既導入済みの Decidim(市民からの意見集約)との連携を予定。
- ③:交通安全に関係する関係者との意見交換や、誘導員への周知や交差点改良等の対応方策の検討。